

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	あしひ園		公表日		2026年 3月 19日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	2	・雨天の日は屋外遊戯場や遊戯室などのスペースも利用している。 ・活動によって狭いと感じることはあるが、適切だと思う。 ・全員出席した場合に少し狭く感じるため、広くスペースをとるようにしている。 ・保護者が2名来られる時は、大人の人数が多くなり、多少の圧迫感がある。	・出席人数によって、活動や使用する部屋を考慮する必要がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	・基準人員+加配の職員を配置している。 ・3人での役割を作って動くようにしていて、休みの場合はフォローがある。 ・クラスに職員が3名いることで、教室に入れない子への対応ができる。	・基準人員（2名）に1名加配している。活動に参加しづらい子どもさんや保護者のフォローができるように考えている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	・子どもに分かりやすい動線になっており、段差がなくバリアフリーである。	・改築したことにより生活動線がわかりやすくなった。 ・全館概ねバリアフリーの構造であるが、玄関の上り口は、子どもさんが靴の脱ぎ履きしやすいよう段差がある。 ・必要が生じた場合には、脱着式のスロープを取り付ける。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	・毎日午前・午後で登園してくるメンバーが違うため、年齢に合わせた環境にしている。 ・遊戯室が広く、多目的に使用できると感じる。 ・掃除は毎日行っている。	・改築したので使いやすく清潔な空間になっていると思われる。維持できるよう、日々の清掃や衛生管理に努める。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	・遊戯室や屋外遊戯場など子どもの状況に応じて使用している。 ・使用しない部屋は施錠しているが、必要に応じて開放するようにしている。	継続
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1	・毎日の終礼で気づきを出し合い完全に努めている。 ・目標設定は難しいと感じることがある。 ・職員会議やケースなどで一緒に振り返り考えていっている。	・できるだけ時間内に業務ができるよう教室のない時間の使い方を工夫している。 ・職員の意見も聞きながら、効率的に業務にあたればと考えている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・即解決できるもの長期のものによって対応している。 ・事業所評価だけでなく、アンケートを実施し、保護者の意見を把握している。	・評価表を用いて保護者への意向の把握を行ない改善に繋げていく。まずは、なんでも話していただけるよう信頼関係の構築に努める
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・会議や終礼などで意見交換の機会や職員の発言する場が設けられている。 ・細かい意見はクラス会議で出し合い1人1人の意見を出せる場になっている。	・児童発達支援管理責任者が職員の事務量を把握し、適宜作業時間を保障するよう努めています。十分でないこともあります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	6		・評議員による評価を行っています。適正とのご意見をいただいています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・法人内での学習会や研修会など年間計画を立てて行っている。 ・法人内での研修も保障されており、参加しやすいと思う。 ・契約社員にも研修の機会があり、参加させてもらっています。	・職種や経験に応じた研修に派遣し専門性を高めます。引き続き、研修の形態によらず、学ぶ機会を保障していきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	・ホームページに掲載している。	・ホームページで公表している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	・定期的な会議の中で一人一人に対して振り返り意見を出し合って作成している。 ・保護者からの聞き取りと普段の活動の様子を踏まえて計画を作成している。 ・保護者の記入する聞き取りなども丁寧にやっている。	・保護者の思いやねがいをていねいに聞き取っていく必要がある。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・定期的に会議を行って進めている。 ・クラス内での共通理解ができている。	・継続する

適切な支援の提供	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	・職員間で共有し、クラスの活動へとおとしていくようにしている。	・継続する
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	・発達検査は希望された方のみ行っている。他、保護者からの聞き取りアンケート等で確認している。	・標準化されたものを活用する。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	・併行通園先との連携も含めて1つ1つの支援を計画に落とし込んでいる。	・おしゃべり会等の中で、ガイドラインにも触れながら活動の意図を伝えたり、保護者の意見や感想も聞いたりしながら、子どもの姿に発達の意味づけをしていくことに努める。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	・クラス会議・リーダー会議を通して検討している。 ・月に2回のクラス会議でクラスごとの活動について決めていく。参加が難しい時も書類を通して確認していく。	・継続する
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・毎月の会議・前期・後期の総括で他クラスの活動も評価し合っている。 ・年間計画で決め、子どもに合わせてその都度立て直しも行っている。	・活動の大きなくりは一カ月単位としていますが、繰り返しを大切にしつつも、少しずつ展開し、子どもたちが飽きることなく期待感をもって、意欲的に取り組めるよう考慮する。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	・子どもの状況に応じて個別活動・集団活動の中での課題や個々の特性を把握し、作成している。	・個々の課題を踏まえつつ、集団で楽しめる活動を設定しているが、そのための視点を広げ、技量を向上させていくための取組も必須である。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	・週ごとに役割を持ち回っている。 ・物の出し入れ、立ち位置などを事前に確認するようにしている。	・継続する
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	・クラスの振り返りだけでなく、終礼でも周知し共有している。 ・子どもの様子などから活動の振り返りを行っている。	・継続する。子どもや保護者に対して、できるだけ一貫した対応ができるよう、職員間の情報の共有に努める。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・終了後に記録している。 ・クラス内で分担して記録をとり、次に持ち越さず共有ができるようにしている。	・継続する
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	2	・半年に1回行っている。	・継続する	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	・会議の機会は多くないが、必要に応じてふさわしいものが参加している。	・現状では、利用契約児童は全員セルフプランであるが、作成前に児童発達支援管理責任者と保護者として協議し、課題や目標の確認をしている。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	・必要に応じて連携をしている。電話連絡がくることもある。 ・医療との繋がりは弱く、保護者を間にはさむことが多い。	・継続する
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1	・対象園児に対して単独通園など移行の提案もしている。	・電話等で、情報の共有をはかっているが、直接出向くことはしていない。今後は、積極的な移行支援ができるよう検討する。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	7	・必要に応じて行っているが全員ではない。 ・保護者とのやりとりは丁寧に行うが、小学校との連携はなかなかできていないと思う。	・継続する ・当園は、併行通園先にあたるので、小学校等からの直接の連携依頼はないが、保護者の要求があれば対応している。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	(31は、事業所のみ回答)			・センター主催の講演会に参加したり、合同で研修会・学習会を行っている。	・管理者が法人内の児童発達支援センターのそれを兼ねているので、日々の療育の気づき	

	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	0	・相談支援の先生と連携があり教えてもらうことも多い。 ・園長が児童発達支援センターとの兼務のため、助言をもらいやすい。	を伝えたり、振り返りの中で助言指導を行っている。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	8	・併行通園している子どもが多いため、そのような機会は設けていない。	・併行通園の子も多いので特に園からの交流はしていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・定期的な面談や懇談会を通して行っている。 ・親子通園なので保護者とのやりとりは丁寧に行い、共有している。	・継続する ・適切にこちらの意図が伝わるよう、保護者に応じて、伝え方の工夫をする必要がある。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	・研修会の案内を行っている。年間計画で定期的に行っている。 ・今年度はペアレントメンターさんに来ていただきお話を開催した。 ・講演会への出席を促したり、報告したりしながら参加してもらっている。	・家族支援プログラムについては、今後、順次職員が研修を受け、おしゃべり会等で、活用していく。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	・契約時に読み合わせを行っている。 ・児発管が行い、質問等があればそれぞれのクラスでも補足している。	・継続する
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・計画前に確認している。	・継続する
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	・個別に説明を行い、保護者の同意を得られるようにしている。 ・一緒に読みながら、確認している。家での様子も聞いていっている。	・全保護者に向けて、契約時に、療育のねらいや内容等についてできるだけいねいに説明するよう努める。また、必要に応じて個別に対応する。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・他には、日々の様子から判断しこちらから聞く場合もある。 ・定期的に面談を行い、療育の中で気になる様子はその都度助言を行っている。 ・子育てサポートを行ったり、立ち話の中で悩みや家での様子も聞いている。	・継続する ・引き続き、一方的な伝え方にならないよう留意するとともに保護者支援の技術を向上させていくための研修を行う。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	3	・おしゃべり会を月1~2回行い、保護者同士のつながりをつくっている。 ・きょうだい同士の交流は難しいのが現状である。	・保護者会はない。 ・おしゃべり会を通して悩みなどの共有を図り、保護者の関係づくりを進める。 ・年に1度卒園児の保護者による研修会も行い、子育てへの見通しが持てるようにする。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	・契約時に伝えている。 ・相談内容によって、園長・主任・担任と適切などころへつなげるようにしている。	・引き続き、気軽に相談できる信頼関係を構築しながら、子どもの育ちへの願いや子育ての不安や悩みを受け止められるようにタイムリーに話し合いができるように努める。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	・月に1度おたよりを発行し、活動内容や行事などの予定を伝えている。 ・ホームページで活動の様子などを毎月発信している。	・引き続き、保護者が意図やねらいを共有できるようにするが、できるだけ誰にでもわかるよう、読みやすさやわかりやすさに配慮する。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・個人情報の書いてある書類は鍵付きの棚に入れ保管している。 ・持ち帰りをせず、十分に注意している。	・継続する
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・個別に対応している。 ・絵カードを利用して活動内容などを分かりやすく伝えている。	・ホワイトボードや掲示板を活用し、視覚的な手がかりを用い、子どもだけでなく、保護者が適切に理解できるよう考慮する。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1	・夏祭りに民生委員さんにご協力いただいている。その他は、スペースの関係で行えていない。	・継続し、地域とのつながりを持つ。 ・防災についての情報共有や訓練なども検討していきたい。
非	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	・マニュアルを策定し、定期的に研修会を開いて学び共有している。心肺蘇生の実地訓練を実施した。	・新園舎における防災等についても、マニュアルを作成し、保護者の方々に、いつでも閲覧していただけるようにしていますが、すべての訓練は実施できていない。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1	・地震・火災の避難訓練を行っている。	・火災訓練、地震訓練にとどまっている。 ・BCPを活用した訓練をしていく必要がある。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	・入園の際に調査票に記入してもらい、確認している。	・継続する
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	3	・親子通園のためアレルギーの対応についてはその都度保護者へ確認している。 ・指示書の提出がある場合もあるが、クッキングの時に必ず確認するようにしている。	・アレルギーの有無については保護者に申告していただき、除去の必要がある場合には、医師の意見書をいただいている。

常時等の対応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は救命救急の訓練を実施した。 ・気になるところは園長・児発管に伝えるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・BCPIに関わる研修会にも参加していく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・親子通園のためその場で共有している。 ・親子通園のため連絡などはないが、安全確保に対して保護者と確認し合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続する
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内で起きた事例も共有している。 ・書面にしていき、職員全員で確認するようにしている。 ・終礼でヒヤリハットを共有し、改善策を話し合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続する
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画を立て実施し、共有している。 ・研修で学び、適切に対応できるように意識している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続する
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に読み合わせを行い、承諾を得ている。 ・児童発達支援計画への記載はされていない。 ・部屋やドアの鍵などが必要な場面は保護者に声をかけていくようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画には掲載している。 ・セルフチェックと日常的な相互のチェック機能が保たれるよう努める。